

大会を成功させようと沖縄も大奮闘中

● 沖縄で平和大会の賛同広がる

すでに4自治体(宜野湾、石垣、北谷、北中城)の 首長が賛同表明

大会前には中央実行委員会と地元実行委員会で記者会見を開き、大会の成功を呼びかけます。この準備の一環として沖縄県実行委員会は県内の各界の方々に賛同を呼びかけています。実行委員会の代表者に呼びかけを約100人に届け、すでに約50名の方々から賛同の返事をいただいているとのこと。このなかには新垣北中城村長、伊波宜野湾市長、大浜石垣市長、野国北谷町長の賛同もあります。

沖縄県実行委員会では今後、名護と那覇を中心にポスターを貼りだし雰囲気づくりをしていきます。機運を盛り上げながら、各団体では構成員に参加を呼びかけています。

また、全国の仲間を充実した報告と討論で迎えようと、シンポジウムや分科会への参加を大いに促すとともに、積極的に発言し、経験を交流できるとりくみにしようと呼びかけています。

● 事前学習会の参加者はのべ57名

沖縄大会のプレ企画として事前学習会をおこなっています。

第1回目の9月20日の「沖縄戦『集団自決』と歴史教科書改ざんのねらい」には24名が、第2回目の10月25日の「日米同盟強化と沖縄 どうなる？沖縄の米軍・自衛隊」には14名が参加しました。沖縄連では、大会を成功させようと25日の学習会と同じテーマで22日に独自に学習会を実施。大久保県実行委員会事務局長が報告者となり19名が参加しました。第3回目の学習会は、11月10日にバスで中北部の米軍基地を終日かけてめぐります。

● 名護・人間の鎖行動に期待の声

大会3日目の「人間の鎖」行動には、当初「沖縄からは参加しなくても」という声もありましたが、9.29県民集会の背景にある憲法改悪と基地強化に対する不安の声をふまえ、「位置づけをもっと大きくしてとりくむべきだ」「意義について議論を深め、構えを強める必要がある」と期待の声に変わっています。

お知らせ

■ 動く分科会・第1次集約について 11月1日に氏名を添えて

動く分科会への申し込みの問い合わせが始まっています。すでにご案内のように、今年の沖縄大会は、全参加者が南部戦跡や中部基地調査を行うのではなく、初参加者を優先しての南部戦跡3台、中部基地調査2台、辺野古海上調査・高江連帯にそれぞれ1台の計7台315人定員となっています。そこで、第1次集約を11月1日としたいと思います。都道府県名、団体・地域名、氏名、希望コース、平和大会および沖縄大会の参加回数を添え申し込み下さい。* 数だけの申し込みの場合は、氏名での申し込みを優先します。

■ 第6回実行委員会のご案内

11月12日(月)14:00~16:00 於:日本平和委員会

・基調報告、行動提起 ・大会当日の運営の確認 など